

学校教育目標	笑顔輝く 楽しい学校 ～ み ずから学び な かまと学び み んなで伸びる～
目指す学校像	～「凡事徹底」＋3つのC(Challenge・Chance・Change)＝楽校～ ○学ぶ喜びのある学校 ○学び合い高めあう学校 ○つながりを大切にする学校

重点目標	1 主体的・対話的で深い学びの実現 2 共感的人間関係を育む学級経営、豊かな心を育てる教育の推進 3 コミュニティ・スクールによる連携・協働 4 安心・安全な教育環境の整備 5 教育実践の「質」にこだわる教師の育成と協働共励の組織づくり
------	--

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価					学 校 運 営 協 議 会 に よ る 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価			実施日 令和 年 月 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> ○市学習状況調査の「知識・技能」「思考・判断・表現」において、どの学年も市平均を上回る又は同等の結果となっており、概ね良好な結果である。 ○学習内容の理解度や興味・関心に応じて、コンピュータを活用した学習に意欲的に取り組む児童が多い。 ●どの学級にも、集団での学習に困難さを抱えている児童や、学びに向かう力に課題のある児童が見られる。 ●学習とは関係のない検索をするなど、タブレット端末の不適切な使い方をする児童が見られる。 	・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善	<ol style="list-style-type: none"> ①自分で、学習形態・学びのツールなど学び方を選択できる個別最適化された学習を行う。 ②友達と考えを共有したり、共同で作成・編集したりすることができる協働的な学習を行う。 ③ICTを効果的に活用し、課題解決したことや自分の考えをまとめる活動を行う。 ④授業の最後に、自らの学びを振り返る時間を設定する。 ⑤タブレット端末の責任ある活用に向けた情報モラル教育を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②③学校評価教員アンケートA評価の割合が「個別最適な学びや協働的な学びを意識した授業」50%以上「ICT機器の活用を意識した授業」40%以上 ①②③学校評価児童・保護者アンケートの肯定的な回答の割合が「分かりやすく教えてくれる」「分かりやすいよう工夫して指導」共に90%以上 ④学習カードやノートに自分の学びを振り返り、次の学びにつなげている。 ⑤情報モラル教育を各学級で1回以上実施 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の主体性を生かしたあいさつ運動が活発に行われている。 ○上級生が下級生を気にかけていたりするなど、学年を超えて仲よくできる児童が多い。 ○一人ひとりの教育上の問題に対する支援や児童間のトラブルへの対応について、学校全体で組織的に行っている。 ●学校自己評価に係る児童アンケートにおいて、「悩みや困ったことが起きた時、誰かに相談できる」の否定的な回答の割合が、他の項目と比べ高い。 ●コミュニケーションスキル不足によるトラブルが起こることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心の教育の推進 ・生徒指導、教育相談に関する取組 	<ol style="list-style-type: none"> ①代表委員会を中心とした「あいさつ運動」では、全児童が楽しく参加できる工夫を行う。 ②異学年集団による交流活動「ハッピータイム」では、6年生を中心に企画運営を行い、自主性、協働力、思いやりの心を育む。 ①教師の言葉の力を磨き、児童との対話を大切にしながらコーチングの手法による学級経営・教育実践を行う。 ②児童の状況を細やかに把握・分析し、専門家や外部機関と連携して組織的に適切な支援・相談を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②学校評価児童・保護者アンケートの肯定的な回答の割合が「あいさつ」「友達と仲よく生活」共に90%以上 ①②昨年度の内容に工夫を加えた「あいさつ運動」「ハッピータイム」を毎月実施 ①学校評価児童・保護者アンケートの肯定的な回答の割合が「よさを見つけ認め伸ばす指導」90%以上 ②学校評価児童・保護者・教員アンケートの肯定的な回答の割合が「教育相談」90%以上 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ○学校自己評価に係る保護者アンケートにおいて、「学校運営に関して、学校、家庭、地域が連携・協働し、子どもの成長を支えている」の肯定的な回答の割合が98%である。 ○学校行事の手伝い、登下校の見守りなど、PTAを中心に保護者の学校に対する協力体制が整っている。地域住民も協力的である。 ●昨年度、学校運営協議会の熟議において、コミュニケーション力の課題を深く掘り下げて共有することができたが、対話力の向上に向けた具体的な取組には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動の情報発信 ・学校運営協議会やSSN、関係機関との連携 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校だよりや懇談会等を活用し、学校が育てたい力「自主性、やりぬく力、協働力、思いやり」をテーマに、家庭、地域への啓発を行う。 ②学校ホームページを活用し、学校の教育活動を情報発信する。 ①学校、家庭、地域が協働した「あいさつ運動」を実施する。 ②子どもたちの対話力の向上に係る取組を展開する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校だよりの巻頭言において「自主性、やりぬく力、協働力、思いやり」をテーマに広報活動を毎月実施 ②学校ホームページにおいて、学校の教育活動の情報発信を、各学期1回以上実施 ①3者が協働のあいさつ運動を毎月実施 ②子どもたちの対話力の向上に係る取組を今年度中に実施 ①②学校評価保護者・教職員アンケートの肯定的な回答の割合が「学校・保護者・地域が連携・協働」90%以上 			
4	<ul style="list-style-type: none"> ○施設設備の定期的な点検や日常的な目視点検の実施により、不具合を早期発見し、必要な修理・修繕を速やかに実施できている。 ○限られた予算を計画的、有効的、効果的に執行し、教育環境の整備できている。 ●故障したタブレットの故障対応など、児童のタブレット端末の管理体制に課題が見られる。 	・安心安全な教育環境の整備	<ol style="list-style-type: none"> ①安全点検表のデジタル化を構築し、点検のマンネリ化の防止、点検者の意識向上と、集約と対応の迅速化を図る。 ②校内予算委員会を開催し、組織的運用と施設設備維持の視点で重点的に予算化する。 ③タブレット端末の台帳管理の徹底と故障対応のマニュアルの見直しを行い、管理体制を再構築する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①安全点検のデジタル化を1学期末までに構築する。不具合箇所への対応策を点検実施日から1週間以内にまとめ、迅速に対応できる。 ②12月末時点で、予算の執行率を60%以上、修繕の執行率を90%以上 ③管理体制を1学期末までに構築し、低学年へタブレット配付の完了。スムーズに故障対応ができる。 			
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTのスキルが向上し、日常的に授業で活用できる教職員が増えている。 ○市の職場環境についての意識調査では、「職場の教職員の協働体制」における肯定的な回答の割合が91%と市平均と比べ高い。 ●研修を通して「自律的に学び続ける力」「新たな課題に対応できる力」「協働的に課題解決できる力」を育成し、教職員の資質向上をさらに高めていく必要がある。 ●新たに設置した学校DX推進委員会を中心とした業務改善の推進が課題である。 	・教育実践の質にこだわる教師の育成、協働共励の組織づくり	<ol style="list-style-type: none"> ①学校課題研修を活用した少人数グループでの公開授業を実施し、教師同士の学び合いを行う。 ②教職員が主体的に学ぶ学校課題研修を実施する。 ③協働体制の強化のために、低中高学年に1名ずつ副担任を配置する。教科担任制を活用した教員間の情報共有の強化を図る。 ④運営委員会で業務改善に関するヒアリングを実施し、業務改善を提案する 	<ol style="list-style-type: none"> ①②少人数グループの授業実践を各教員が年3回以上実施。また、学校課題研修を通じて、各学期1回、各グループの取組を全体で共有。 ③市の職場環境についての意識調査において、「協働体制」の項目の肯定的な回答の割合が90%以上 ④業務改善に関するヒアリングをもとに業務改善策や方向性について、各学期1回以上提案。 			

学校運営協議会からの意見・要望・評価等